

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：遺家族等援護費

## 事業名 戦傷病者援護関係事業推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 管理援護係 電話番号：058-272-1111(内3442)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 56 千円 (前年度予算額： 62 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	62	0	0	0	0	0	0	0	62
要求額	56	0	0	0	0	0	0	0	56
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

戦争による戦傷病者を援護するための各種事業を実施することにより、戦傷病者の健康増進に寄与する。

### (2) 事業内容

- ・戦傷病者乗車券引換証の交付
- ・戦傷病者やその家族等からの相談対応

(3) 県負担・補助率の考え方

戦傷病者戦没者遺族等援護法などに基づき、県には戦傷病者に対する援護施策を実施する責務がある。

(4) 類似事業の有無

他に類似事業なし。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	28	各種消耗品等（コピー代、一般事務用品代）
役務費	28	電話代、郵便料
合計	56	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 国・他県の状況

他県も同様に実施している。

(2) 後年度の財政負担

事業ニーズを踏まえ、毎年度必要額を予算計上する。

(3) 事業主体及びその妥当性

戦傷病者戦没者遺族等援護法などに基づき、国及び地方公共団体には戦傷病者に対する援護施策を実施する責務があり、県は国の援護制度の実施機関としての役割を担う。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

戦傷病者に対する国の施策を県内で確実に実施することにより、戦傷病者の生活の安定と福祉の向上を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

### ○指標を設定することができない場合の理由

本事業は戦傷病者の生活の安定と福祉の向上を図るものであり、指標の設定にそぐわない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>戦傷病者に関する相談対応や戦傷病者乗車券引換証の交付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦傷病者関係の相談件数 5件</li> <li>・戦傷病者乗車券引換証交付人数 5人（14枚）</li> </ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	<p>戦傷病者に関する相談対応や戦傷病者乗車券引換証の交付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦傷病者関係の相談件数 13件</li> <li>・戦傷病者乗車券引換証交付人数 5人（14枚）</li> </ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	<p>戦傷病者に関する相談対応や戦傷病者乗車券引換証の交付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦傷病者関係の相談件数 2件</li> <li>・戦傷病者乗車券引換証交付件数 1人（2枚）</li> </ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	戦傷病者は、国の命令により従軍・従事し、その結果として心身に重大な損傷を負った方であり、県としてこの方々を支援することは当然の責務である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	戦傷病者に関する制度や相談への対応のほか、戦傷病者からの求めに応じ、戦傷病者乗車券引換証の交付を実施。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	戦傷病者乗車券引換証の交付事務に当たり、事前に市町村へ対象者の生死や住所確認を行うなど、事務作業の軽減や経費削減に努めている。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 戦傷病者の高齢化が進み、身体機能の低下が増しているため、福祉・医療・介護などの総合的な支援が求められる。
---

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 戦傷病者の高齢化が進み、身体機能の低下が増しているため、支援を継続していく。
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	